



「ITU TELECOM WORLD 2006」CEO Roundtableでの講演より IT・ネットワーク融合による イノベーションで社会の発展に貢献

* 本稿は、2006年12月4日のITU TELECOM WORLD 2006、CEO RoundtableでのNEC社長、矢野薫の講演について、プレゼンテーション内容をNECおよびNEC技報編集事務局にてまとめ、日本語に翻訳したものです。

NEC社長
矢野 薫

1. C&C (Computers & Communications)の提唱

今から約30年前の1977年、米国アトランタ市で開催された「インテルコム'77」のキーノート・スピーチで、当時、当社の会長であった小林はコンピュータと通信の融合、すなわち「C&C」のコンセプトを提唱しました。

その中で小林は図1にあるような考え方を示しました。このコンセプトは、インターネットが普及した現在の社会をまさに予見したものだったと考えています。以降、当社はこの「C&C」の実現を基本方針として事業を運営してきました。

現在、このC&Cのコンセプト、「いつでも、どこでも、だれとでも」豊かなコミュニケーションができる世界が、現実のものとなってきました。こうした現在の社会を実現するために、当社はグローバルにC&Cの技術・製品を提供してきました。

2. NGNの実現に必要なITとネットワークの融合

現在、世界各国のキャリアで次世代ネットワーク（NGN）の構築が始まっています。当社は、このNGNは単に既存の電話網をIPベースのネットワークに置き換えるだけのものではないと考えています。

当社としては、NGNを

- ・ ディペンダブルなIT・ネットワーク基盤
- ・ 個人、企業、社会の利便性を高める、豊富なサービスの創出基盤

と捉えており、今後の豊かで安心・安全な社会のインフラになるものと考えています。

NGNの価値を実現するためには、コンピュータとコミュニケーションの融合、現在の言葉で言い換えればITとネットワークテクノロジーの融合が不可欠です(図2)。この点は、当社が大きく貢献できるところです。当社はITとネットワーク、さらにそれらを支える半導体の技術を磨き、ノウハウや実績を蓄積してきました。これらをフルに活用し、NGN構築に取り組んでいきたいと考えています。

「私の将来の通信に対するビジョンについて質問があり、私の力を超えてお答えすることが許されるとすれば、私のイメージは、21世紀の初めには『いつでも、どこでも、誰とでもお互いに顔を見ながら話ができる』というところまで広がります。」

これが実現するとすれば、そのときはすべての技術、つまり通信、コンピュータおよびテレビジョンは、このようなニーズに対して統合されるでしょうし、またそうあるべきです。そのためには、発展途上国がそのような世界通信システムに参加できるように、これらの国々を援助することが重要になります。」

“International Telecommunication Exposition (INTELCOM) 1977”での小林会長(当時)の講演より



図1 C&C (Computers & Communications)

● NECはIT・ネットワークの技術・ノウハウ・実績を活用し、貢献

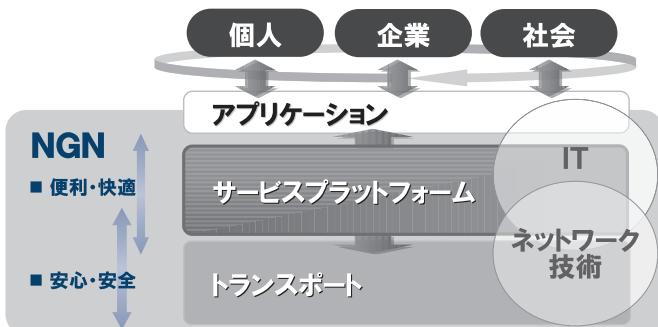


図2 NGNの実現にはITとネットワークの融合が必要

3. ITとネットワーク融合による先行サービスの実現

NGN構築の取り組みはすでに始まっています。

NGNの特長は、多様なサービスを創出し提供できる点です。これを可能とするサービスプラットフォームについては、利用者の利便性の観点からトランスポートに先行して構築が始まっています(図3)。



図3 ITとネットワーク融合による先行サービス実現例

たとえば、1秒間に何万件ものインターネットアクセスを処理できる、モバイルインターネットサービスを支える基盤システムや、携帯電話をクレジットカードとして利用するための基盤システムなどが、すでに稼働しています。

当社は

- ・ ITとネットワークテクノロジーを融合した技術力
- ・ 大規模で高信頼性が求められるシステムの構築力と豊富な実績

などを活かして、セキュアで高信頼な24時間365日無停止のシステムを実現し、お客様に貢献しています。

4. NGNにより広がる新たなサービス

NGNが構築されると、私たちの生活を豊かにしライフスタイルを変革する、多様なサービスの創出が期待されます(図4)。たとえば、IPTVサービスです。NGNのディペンダブルなネットワークによりQoSが保証されることで、高品質な動画を途切れ無く利用できるようになります。

また、ユーザープロファイルとの連携により高度な広告展開やTVプログラムのパーソナライズなど、新たな付加価値サービスも可能となります。

もう1つの例はマルチメディアグループコミュニケーションです。現在の音声サービスに加え、動画やWebなどのマルチメディアコンテンツを複数の端末間で共有しながら、効率的・効果的なグループコミュニケーションが可能となります。企業の業務においては、関係者間で映像やデータ、音声を共有したコ

● IPTV

- ▶ QoSが保証された高品質な動画配信
- ▶ パーソナライズされた、高付加価値サービス

● マルチメディアグループコミュニケーション

- ▶ 多様な端末での効果的・効率的なグループコミュニケーション

● シンクライアントシステム

- ▶ セキュアなモバイルオフィスの実現



図4 NGNにより広がる新たなサービス

ラボレーションなどが可能になります。また、個人の日常生活においても、離れた場所にいても、友人との間で1つの映像を見ながら会話を楽しんだりすることができます。

さらに、NGNにより、高速/高信頼/シームレスなIT・ネットワークインフラが実現すると、従来のボトルネックが解消し、シンクライアントの活用もさらに広がります。サーバ上でデータを一括集中運用することによりセキュリティが強化され、モビリティの高いワークスタイルが実現するとともに、TCOの大幅な削減が期待できます。

5. 将来に向けたNECの取り組み

さらに当社では、NGNの先の将来に向けて、イノベーションを推進しています。

かつて経済学者のシュンペーターは「イノベーションとは新結合である」と言いました。この「新結合」を生み出すには、多様な人々のコラボレーションが重要な役割を果たします。

当社としては

- ・ ITとネットワーク技術の融合により、世界の人々が安心して、より容易にコラボレーションができる、テクノロジーのプラットフォームを進化させていきます。
- ・ そしてそのプラットフォームを活用して、私たちのキャリア向け/個人向け/企業向け/公共団体向けの幅広いソリューションを提供します。

世界の多様な人々のコラボレーションを促進することで、社会や地球環境の課題解決を支援するとともに、人々の生活を

●ITとネットワークの融合によりイノベーションを推進し、
社会の発展に貢献

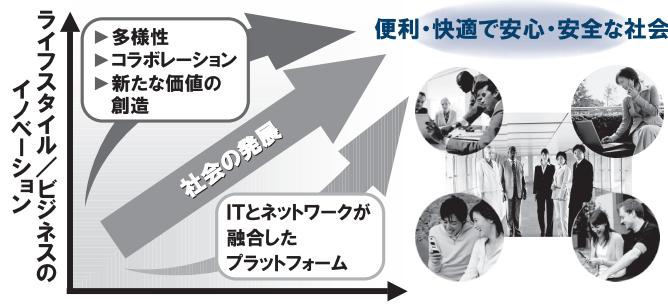


図5 将来に向けたNECの取組み

豊かにする、新しい価値の創出に貢献していきたいと考えています(図5)。

私たちはデジタルワールドのさらなる発展を牽引し、便利・快適で安心・安全な社会を実現していきます。

*本稿に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。